

9.18 (中日)

9.18 (朝日)

「大津 音楽祭」開幕 11月5日まで

びわ湖ホールとその周辺の大津市街を舞台に、コンサートやオペラを中心とした催しが開かれる「びわ湖大津 秋の音楽祭」が17日始まった。ほかにも11月5日まで、食べ歩きや市街のライトアップ、フリーマーケットなど計78の催しが連日開かれる。

今年、東日本大震災を受け、「復興の音・びわ湖から届ける音のエール」と題するイベントで幕を開けた。会場のなぎさ公園ではチャリティーコンサートがあり、福島の特産品を販売する露店も並んだ。

食べ歩きやライトアップなど78の催し

フラダンスの愛好者グループ約10

団体による舞台や、琵琶湖岸からJR大津駅前までの約1.5キロをイルミネーションや大津絵を描いた行灯で照らす「灯りウォーク」があり、芸術の秋を満喫しようとする人々にぎわった。

今後の催しの予定は、びわ湖ホールのホームページ (<http://www.biwako-hall.or.jp/festival/autumn2011/index.html>)。

イベント多彩に 秋の音楽祭開幕

大津

音楽コンサートや食

のイベント、フリーマーケットなどさまざまな催しを通して大津市中心市街地の活性化を目指す「びわ湖大津秋の音楽祭」が17日、同市内で始まった。十一月五日まで、市内の文化施設や団体などで行く同祭運

管協議会が二〇〇九年から毎年開いている。今回はびわ湖ホールなどの会場で、週末を中心にオペラやオーケストラなど三十四の音楽行事を、市街地では、商店街や琵琶湖岸イルミネーションで飾る「大津まちなか食と灯



初日は琵琶湖岸のなぎさ公園広場で、東日本大震災復興支援のチャリティージャズライブ写真や福島県物産市があったほか、びわ湖ホールなどでギターコンサートやフラダンスフェスティバルなどが開かれ、来場者衆しました。(中尾吟)

9.18 (京都)

「びわ湖大津 秋の音楽祭」が17日から11月5日まで、大津市のびわ湖ホールや大津周辺で開かれる。オペラ、オーケストラや能などの芸術と、さまざまなイベントが多彩に繰り広げられる。

文化施設や団体、企業などによる運営協議会が主催。3年目の今回は34の舞台芸術と44のイベントを実施する。

17日は午後3時から東日本大震災の被災地へのチャリティーコンサート「復興の音・びわ湖から届ける音のエール」を、なぎさ公園お祭り広場で開催。同6時から中心市街地一帯で食文化や灯りをテーマにした「大津まちなか食と灯りの祭」(10月31日、12月1日〜25日)を開く。

24日には明かりで地域振興に取り組む全国23団体が参加する「第5回全国あかりサミット」が旧大津公会堂などで実施され、23〜25日は日没から午後10時まで若手県平泉町の「浄土のあかり」など10府県の明かりを湖岸緑地帯にともす。

また、びわ湖ホールでは戦国時代の西洋音楽に耳を傾ける「お江の時代と音楽」を10月10、16日に企画。大津祭の管管、本祭に合わせ、10月8、9日に「オペラの招待 歌劇『魔笛』」を上演する。問い合わせは同ホールの077(023)71336か、大津市都市再生課の077(023)21001。